

## ▽▲組合本部活動だより▲▽

《総務部》 総務局

### ◇全日本海員組合奨学金制度について◇

#### ■2021年度 295人でスタート

後、5人を臨時に採用し、昨年9月に28人、今年3月に115人(返還猶予中の7人を含む)が卒業、6人が退学となった。本年9月には29人が卒業後の就職が内定している。今年度卒業予定は144人。うち、21人は専攻科その他上級船員養成校に進学、5人が陸上などの就職、118人が船員として、海上第一線で活躍することになった。

#### ■2022年度 283人でスタート

奨学生の募集は、これまで同様、船員職業を選択する学年を対象として“学校長の推薦を受けること”としたが、高等専門学校および商船高等専門学校5校に対しては「外航日本人船員・海技者奨学金制度」の対象となることから、募集対象外とした。

これらを前提に3月中は募集準備期間とし、募集期間を4月1日から5月末日を締切として行った結果、地域検討委員会を通じて合計27校125人の応募があった。

7月8日に奨学金貸与規定に基づく奨学生選考委員会を開催し、申請内容について検討・協議を行った結果、全てに疑義がないことを確認、奨学金貸与規定の定員を超える船員養成機関で、船員就職率が高いものについては、中央執行委員会の採用承認を得た後、7月15日に第1回奨学金の振り込みを行った。

### ◇外航日本人船員・海技者奨学金制度について◇

#### ■2021年度 89人でスタート

9月に20人が卒業した。卒業生の進路は、進学が専攻科2人・神戸大学2人で就職は、陸上2人・外航各社に4人・内航その他の海運各社に10人で、それぞれ海上の第一線で活躍中である。また、本年9月には23人が卒業後の進路が内定している(進学による返還猶予者2人を含む)。

#### ■2022年度 16人でスタート

商船高等専門学校および高等専門学校への奨学生の募集には、5校16人の応募があり、国際船員労務協会・全日本海員組合双方委員出席の下、奨学生選考委員会を開催し、申請者全員を採用することを決定した。

「海員だより」